

恐竜のまち

広報 **かつやま**

Dinosaur city KATSUYAMA

9月号


2021



特集

築かれた旧勝山城下町を探る

—— 日本遺産 ——

福井・勝山 石がたり 
中世・近世のまちづくり、そして現代



石がかたる 積み上げられた歴史の物語

新型コロナウイルス ワクチン接種に関するお知らせ

接種費用
無料

岡勝山市コールセンター（すこやか内） ☎64-5543

新型コロナウイルスワクチン接種状況（9月5日現在）

ワクチンには高い発症予防効果と重症化予防効果が認められています。ワクチン接種は、家族や友人、職場の同僚など周囲の人の命と健康を守ることに繋がります。12歳未満の子どもたちは、ワクチン接種を受けることができません。子どもたちを守るためにも、早めのワクチン接種をご検討ください。

| 対象年齢 ※今年度中に達する年齢 | 対象者数 | 予約済者数 | 1回目接種済者数 | 2回目接種済者数 |
|---------------------|---------|----------------|----------------|----------------|
| 65歳以上 | 8,650人 | 7,798人(90.2%) | 7,767人(89.8%) | 7,607人(87.9%) |
| 60歳～64歳 | 1,631人 | 1,476人(90.5%) | 1,476人(90.5%) | 1,403人(86.0%) |
| 50歳～59歳 | 2,569人 | 2,186人(85.1%) | 2,186人(85.1%) | 1,988人(77.4%) |
| 40歳～49歳 | 2,638人 | 2,021人(76.6%) | 2,021人(76.6%) | 1,596人(60.5%) |
| 30歳～39歳 | 2,067人 | 1,315人(63.6%) | 1,246人(60.3%) | 808人(39.1%) |
| 20歳～29歳 | 1,746人 | 1,137人(65.1%) | 693人(39.7%) | 441人(25.3%) |
| 12歳～19歳 | 1,398人 | 977人(69.9%) | 775人(55.4%) | 643人(46.0%) |
| 合計 | 20,699人 | 16,910人(81.7%) | 16,164人(78.1%) | 14,486人(70.0%) |

すこやかでの集団接種を終了

現在進められているワクチン接種ですが、福祉健康センターすこやかでの集団接種については、**9月19日(日)**で一旦終了します。今後は、市内の医療機関での個別接種を中心に実施します。

日曜日のワクチン接種を終了

たけとう病院での9月26日(日)の接種をもって、日曜日のワクチン接種を一旦終了します。予約に空きがあるので、この機会にご検討ください。

ワクチン接種の予約
キャンセル待ちは
こちらまで連絡を

キャンセル待ち接種を募集

体調不良などの理由によるワクチン接種の急なキャンセルに対応するため、キャンセル待ち接種にご協力いただける方を募集します。

対象▶勝山市内で12歳以上の新型コロナウイルスワクチン未接種の方

受付▶電話でのみの受け付けになります

※ワクチン接種を予約済みの方も申し込み可能

※キャンセル待ち接種となるため、受け付けた方全てにご案内できるとは限りません

勝山市コールセンター
☎ 6 4 - 5 5 4 3
全日午前9時～午後5時



LINE受付はこちら

新型コロナウイルス感染症

子どもたちが家庭内で感染し
学校などで感染が広がる恐れがあります
いま一度、緊張感をもって行動の見直しを

福井県では、県内の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、福井県独自の「福井県緊急事態宣言」を発令しています。(9月6日現在)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**ワクチン接種の検討**、「マスクの着用」「人との距離は1m以上」「こまめな手洗い・手指消毒」など**感染対策の再徹底**をお願いします。

・強い危機感をもって一人ひとりの行動見直しを

「おはなしはマスク」の再徹底・県境をまたぐ旅行や帰省などは原則中止または延期を
同居家族以外との不要不急の外出は慎重に・換気や手指消毒など基本的な感染対策の徹底
早期のワクチン接種の予約

・職場や学校など集団生活の感染対策を再徹底

感染拡大は経営上の大きなリスク。トップが感染対策を徹底
職場外のプライベートにおいても、感染対策を徹底するよう周知
ワクチン接種を受けやすい環境づくり

10月31日までの市主催イベントの実施について

子どもたちへの新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、10月31日までに実施予定であった市が主催する行事や事業について、下記のとおり対応することになりました。

| 対 応 | 行事・事業内容 |
|---------|--|
| 中 止 | 野向町敬老会、勝山地区敬老会、市民体育大会相撲競技会、勝山市内駅伝競争大会、鹿谷町自衛消防訓練、えちぜん鉄道電車運転体験、各地区町民運動会・体育祭、北谷町敬老会、平泉寺町文化祭、三室まつり(遅羽町文化祭)、産業フェア |
| 延 期 | 盆踊り、道の駅イベント ※実施日は未定 |
| オンライン開催 | Eスポーツイベント ※10月24日(日)開催予定 |
| 開 催 | 市民総合文化祭 ※10月30日(土)・31日(日)開催、芸能発表：小学生は不参加 |

勝ち山飯お座敷体験事業 クーポン利用期間を延長します

当初8月末まで実施予定であった「勝ち山飯お座敷体験事業」ですが、県内での新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、9月30日(休)まで期間を延長することになりました。地域経済の活性化を支援するためにも、この機会にぜひお座敷料理をご体験ください。

クーポン券の利用方法▶

1. 対象店舗にて1人あたり4,000円(税抜)以上の食事をする
2. 会計時にクーポン券に氏名、住所を記入する
3. 市民1人あたり2,000円の割引が受けられる

※福井県「県民行動指針」に基づき、3人または4人のグループが対象になります

関商工観光・ふるさと創生課(市役所2階) ☎88-8105



対象店舗など
詳しくはこちら



9月17日(金)スタート!! みんなで「農業男子・農業女子」を応援しよう!!

勝山市内ではがんばっている農家さんを紹介し、市内外の幅広い世代の方に農業への関心や市内で採れる農作物の魅力を知ってもらうための応援プロジェクトを実施します。

プロジェクト① 応援したい農家さんに投票しよう

勝山市在住の男女各5人の農家さんをウェブサイトで紹介します。作っている農作物はもちろん、各農家さんの人となり、農業に対する想いなどを紹介し地元農家さんの魅力に迫ります。
「応援したい」と感じた農家さんにぜひ投票してください。

投票していただいた方の中から抽選で「農業男子・農業女子」が作った勝山産の農作物詰め合わせと「いちほまれ」を各10人ずつプレゼントします。

投票期間▼9月17日(金)～11月30日(火)
※投票結果は12月中旬発表予定



プロジェクト② 勝山高校生考案レシピで勝山産農作物をPR

勝山高校の生徒が勝山産の野菜を使ったキッシュのレシピを考案し、市の公式YouTubeでキッシュの調理動画を公開予定です。お楽しみに!!



プロジェクトの詳細はこちら
※9月17日公開

圃農林政策課(市役所1階)
☎88・8106

みんなでつくる みらいの勝山

「～未来のまちづくりを考えよう～市民意見交換会」を開催しました。

市民意見交換会

令和3年度未策定に向け準備を進めている「第6次勝山市総合計画」および総合計画の大きな政策の一つとなる「中学校再編計画(案)」をテーマに、市民の皆さまからご意見・ご提案をいただくため、7月28日～8月27日にかけて市内全10地区で、市民意見交換会を開催しました。

各会場の参加者は366人で、意見交換会の様子を中継したライブ配信動画の視聴回数は836回(8月31日現在)でした。

また、意見交換会資料は市ホームページに公開しています。

市民の皆さまよりいただいたご意見・ご提案を踏まえ、両計画の基本的な考え方・方向性を定めていきます。

「ご意見・ご提案の募集は9月30日(木)までお受けしています」



市ホームページ

- ・録画配信
- ・当日資料
- ・応募フォームなどはこちら



8月27日開催 勝山地区の様子



7月28日開催 猪野瀬地区の様子

いただいた主なご意見

- ・人口減少、少子高齢化における地域およびコミュニティのあり方を考えるべき
- ・雪に強い生活道路の維持管理が重要
- ・若者などが“働きたくなる”働く場の創出が必要
- ・元気な高齢者が活躍、交流できる場の創出が必要
- ・少子高齢化における農業のあり方について考えるべき
- ・若者のアイデアを活かす仕組みづくりが重要
- ・恐竜を核とした観光政策、経済活性化を進めるべき
- ・市民と一緒に進める総合計画にしてほしい
- ・今回のような市民意見交換会のようなことを毎年度実施すべき

第6次勝山市総合計画策定に向けた今後の予定

| 内 容 | 時 期 |
|------------------|---------|
| まちづくりに関する意見・提案募集 | 9月末まで |
| 総合計画骨子のパブリックコメント | 10月～11月 |
| 総合計画(案)パブリックコメント | 1月～2月 |
| 総合計画(案)議会上程～議決 | 3月 |



①

特集 日本遺産 福井・勝山 石がたり

築かれた旧勝山城下町を探る

令和元年5月に日本遺産として認定を受けた「福井・勝山 石がたり」
今月の特集では、日本遺産の構成文化財でもある旧勝山城下町のはじまりや七里壁
に築かれた石垣の理由などを探りながら、勝山の町並みの魅力について考えます。

閩史蹟・文化課(教育会館2階) ☎88-8113



JAPAN HERITAGE

日本遺産



日本遺産の
詳細はこちら



元禄時代勝山町図 (市指定文化財)

**勝山城下町のはじまりと
七里壁の石垣**
1580年(天正8)年に柴田勝安が勝山(当時は袋田村)に城を築きました。これが勝山城下町のはじまりです。
勝山城下町は、九頭竜川がつくり出した「河岸段丘*」という地形を利用して築かれています。
その頃の様子はよくわかっていませんが、1600年頃までには袋田町、郡町、後町の3つの町ができています。このうち郡町は、その名のとおり、村岡山城の麓、郡村から移住してきた人々が住んだようです。さて、勝山では、なぜ七里壁(*)に石垣ができたのでしょうか。
1691年(元禄4)に小笠原貞信が入り、勝山藩が成立しました。

旧勝山城下の七里壁は市の指定文化財に

令和3年5月には、旧勝山城下の範囲に含まれる約1.5kmの七里壁の内、石積み部分の約800mを市の指定文化財として指定しました。

市民の生活を守り、市の良好な景観をたもつために、末永く保護をしていきます。

圖史蹟・文化課(教育会館2階)

☎88-8113

勝山城博物館・勝山市連携第7回共催展 城下町「勝山」～江戸時代の祭礼と災害から探る～ 開催中

江戸時代の人々が描き、書き記してきた城下絵図や町年寄日記など、勝山の城下町を知ることができる貴重な史料が展示されています。



期間▶10月3日(日)まで
(水曜日は休館日)

ところ▶勝山城博物館

入館料▶大人700円

小中高生260円

圖勝山城博物館 ☎88-6200

- ①伝統的な町屋が残る本町どおり/勝山の町並みは、七里壁を巧みに取り込んでいます。七里壁の上には城や武家屋敷、下には町家や寺院が配置されています。
- ②市内に残る大清水(本町2)/勝山城下町に湧き出す伏流水のひとつです。かつては、神明神社、国泰寺、岸の下、義宣寺など石垣下にも湧水があり、勝山は水の町だったのです。
- ③義宣寺横の石垣/九頭竜川の川原石が5～6m程きれいに積み上げられています。



七里壁の石垣は勝山城下町の繁栄を伝え、今も独特の景観をつくりだしています。

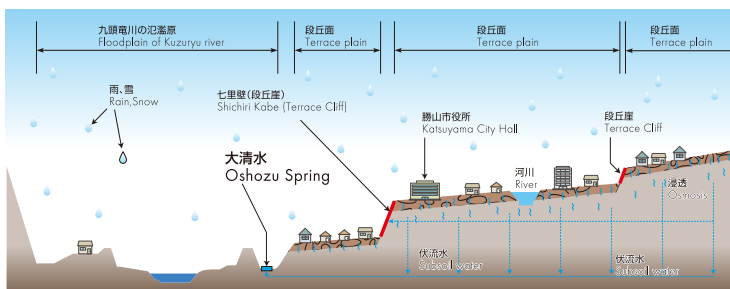
勝山城下町では、この七里壁を境に上の段丘面に城や武家屋敷、下の段丘面に神社、町屋を配置し、城下町を築いています。七里壁の石垣は、勝山城下町の見栄えや七里壁の崩壊を防ぐ目的などから、長い年月をかけて、現在のような石垣に整えられていったのでしょう。

当時の町並みを伝える「元禄時代勝山町図」(市指定文化財)。この絵図に描かれた七里壁をみると、勝山城へと向かうメインストリート大手坂(現在の商工会議所裏)の南側に石垣らしき表現が見られます。

*河岸段丘と七里壁

勝山の河岸段丘は、数万年前に主に九頭竜川の浸食と堆積、土地の隆起が繰り返されて形成され、2～3段の平らな面(段丘面)と急な崖(段丘崖)が見られます。

急な崖は、九頭竜川に沿って勝山から永平寺町まで断続的に約20数km続き、総称して「七里壁」と呼ばれています。



勝山市街地の模式的な地形断面図



築かれた石垣の魅力

ご紹介します～

神明神社

岸の下



注目
ポイント

「防災機能」(神明神社)

川の浸食により形成される河岸段丘の崖は、そのままでは崩れてしまいます。昔の人は、石垣を築いて地形を安定させることで、安心して住むことができたでしょう。

注目
ポイント

「積み上げた石の高さ」(岸の下)

約5～7mの高さに崖に沿って、石を垂直に積み上げています。下から見上げれば、まるで石壁のようです。

旧勝山城下町の
魅力について
インタビュー



(株)カウベル・コーポレーション(福井市)
編集ライター
さいとう りこ さん
齊藤 理子 さん

思わず撮影したくなる勝山の風景

昨年、日本遺産のモニターツアーに参加し、初めて勝山の町を歩きました。思わず写真を撮ってしまう町並みや風景、建物があり、勝山はこんなに素敵なおとこなんだと感じました。

市外の方が勝山を訪れた時、市民のみなさんに自信をもって地域を紹介していただけると、より一層勝山を好きになると思います。素敵な町並みや風情が残る勝山を、暮らす方たちが楽しむ気持ちで発信してください。



福井県通訳案内士協会
会長
わじだ ともり さん
鷺田 智憲 さん

自信をもって勝山を世界の人々へ

普段見慣れた景色が日本遺産に登録されたとき聞いたときは驚きましたが、木の文化が主流の日本において、石がテーマの日本遺産はとても興味深く、勝山の歴史や文化を調べると、外国の方にも興味を持ってもらえる可能性は十分にあると考えています。

コロナ禍が収束し、外国の方を案内する機会がきたときは、自信をもって地元勝山のことを紹介していきたいと思っています。

見方で変わる 七里壁に

～主なポイントを



「石の形と並べ方」(義宣寺)

丸い川原石を斜めに寝かせながらしっかりと組み合わせ、規則正しく丁寧に積み重ねた美しい石垣をみることができます。

注目
ポイント

日本遺産フェスティバル 開催(予定)

石をテーマにした日本遺産の魅力を多くの方に知ってもらう機会として、フェスティバルの開催を予定しています。

とき▶11月20日(土)・21日(日)

ところ▶本町通り周辺

内容▶石をテーマとしたワークショップなど

日本遺産の認定は、地域のことを見つめ直す良いきっかけです。

地域の歴史や文化を活かしながら、勝山の良さを一緒に広めていきましょう。

勝山公民館職員
(市民会館前(勝山城跡))



つちカフェ(本町4)
つち 啓子 さん

(みつばち文庫・勝山
おはなしの会代表)

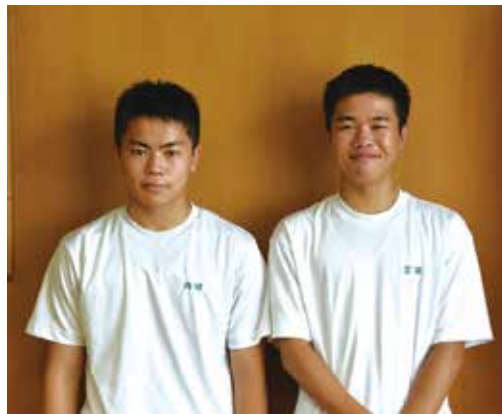
地域で暮らす人々も大切な遺産

次の世代に「勝山で育って良かった、地域が好きだ」という想いをつなげられるのは、地域で暮らす人々の存在が大きいです。それは七里壁などの日本遺産と同様に大切なものだと思います。

カフェや絵本の読み聞かせ、昔話のおはなし会なども地域に暮らす人が、地域に愛着を持つきっかけになってもらえたら、と活動を続けています。

日本遺産フェスティバルなど、地域の活動にできる限り参加していきたいと思っています。

2人で魅せたプレゼンテーション



(左) 内田 凱翔さん、(右) 吉田 慎之介さん

「と話す内田さん。今回の結果に悔しさもあるのですが、「自分たちのプレゼンが認められ、自信が付きました」と振り返っていました。

主にイラストを担当した吉田さんは、伝えたい内容にあうイラストを描くのに苦労したそうですが、「自分たちの伝えたいことを適確に伝える技術を学べ、大会に参加して良かったです」と笑顔で話し、2人とも充実した表情を浮かべていました。

2人の熱い想いが詰まったプレゼンは必見です。
発表の動画はこちら



発表の動画はこちら

8月28日、勝山高校2年生の内田さんと吉田さんは、全国の高校生がプレゼンテーションスキルを競う「全国高校生プレゼン甲子園」で優秀賞に輝きました。
29都道府県から409チームが参加し、10チームが決勝に進んだ本大会。2人で磨きかけたプレゼンで決勝でも自分たちの思いを伝えきりました。

「限られた時間内に、自分たちが伝えたいことを分かりやすくまとめることが大変でした。



決勝大会の様子

稲竜溪谷ふくい 勝山ジオパーク

他地域のジオパーク紹介 「伊豆大島ジオパーク」

ジオパークまちづくり課 主査(学芸員) まち町 すみあき 澄秋

現在日本にはジオパークが43地域あります。今回はその中の一つ、伊豆大島全域(東京都大島町)をエリアとする伊豆大島ジオパークを紹介したいと思います。

伊豆大島を含む伊豆諸島は、太平洋プレートがフィリピン海プレートの下に沈み込むことにより形成された火山島です。伊豆大島の最高峰三原山(みはらやま)の標高は758メートルですが、海底部分まで含めると1000メートルほどの高さになります。数十万年にわたる火山活動の結果、溶岩や火山灰などが積み重なることで、海面に頭を出して島となったのです。

伊豆大島には、生々しい火山活動の痕跡を見られるジオサイトが多くあります。その一つが地層大切断面です(写真)。高さ24メートル、長さ約600メートルに渡って露出するこの地層は、昭和28年の道路建設工事中に偶然発見されたものです。一見、褶曲(地層ができた後に力が加わって曲がった変形した状態)したように見える地層ですが、実はこの地層は約20万年の間の100回以上の爆発的な噴火によって噴出した火山灰やスコリア(暗色をした軽石

のような多孔質の噴出物)、火山弾が元々の地形面に平行に積み重なったものなのです。

離島という地理的に隔絶された環境では、独特の文化が育まれてきました。例えば、「くさや」が挙げられます。江戸時代初期、水に乏しく水田を作れなかった伊豆大島では、米の代わりに塩で年貢を納めていました。塩の取り立てが厳しく、干物を作るための塩も節約する必要があったのです。そこで魚をつけ込む塩水も捨てるのではなく、塩と水を少しずつ足しながら使用するうちに魚から出た成分が発酵して、独特の「くさや液」ができたと考えられています。火山とそれが生み出した独特の文化を楽しめる伊豆大島ジオパークは、ぜひ再訪してみたいジオパークの一つです。



地層大切断面

にぎやか 谷のはやし込み行列

■8月15日 北谷町谷区



北谷町谷区の伝統行事「谷のはやし込み行列」が行われ、軽快なお囃子にあわせて、さまざまな衣装をした行列が練り歩きました。

勝山市で開催 インターハイ登山競技

■8月20～22日 三頭山、取立山ほか



北信越地域で開催された令和3年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）。登山競技が、市内の三頭山、取立山などで行われました。

ランタンに照らされて 旧木下家住宅

■8月21日 北郷町上野区



国の重要文化財「旧木下家住宅」で開催された観月の会。ランタンに照らされた古民家、ジャズとタップダンスの共演が、心地よい空間を作り出しました。



ボランティアで遊具を塗装

■8月7日 鹿谷小学校



奥越塗装工業協同組合勝山支部による鹿谷小学校の遊具を塗りなおす奉仕作業が行われ、塗装が剥げてしまった遊具がカラフルに生まれ変わりました。

八月八日は屋根の日 屋根を無料修繕

■8月8日 ゆめおーれ勝山



福井県屋根工事業共同組合および瓦屋根診断技師会によるゆめおーれ勝山の瓦屋根の無料診断、無料修繕が行われました。

光のメッセージ 子どもたちの^{あか}灯り

■8月13、14日 教育会館



成器南小学校、成器西小学校の児童が描いた絵やメッセージをあんどんにして展示する「子どもたちの^{あか}灯り」。来場者は、たくさんのあんどんが作り出す幻想的な雰囲気の中、描かれた絵やメッセージをじっくりと鑑賞していました。